

19. 輸血製剤廃棄率

算式

【分子】 廃棄赤血球製剤単位数

【分母】 使用輸血赤血球製剤単位数 + 廃棄赤血球製剤単位数

定義

輸血用血液・血液製剤のうち廃棄された血液・血液製剤の割合

指標の解説

施設調査より抽出

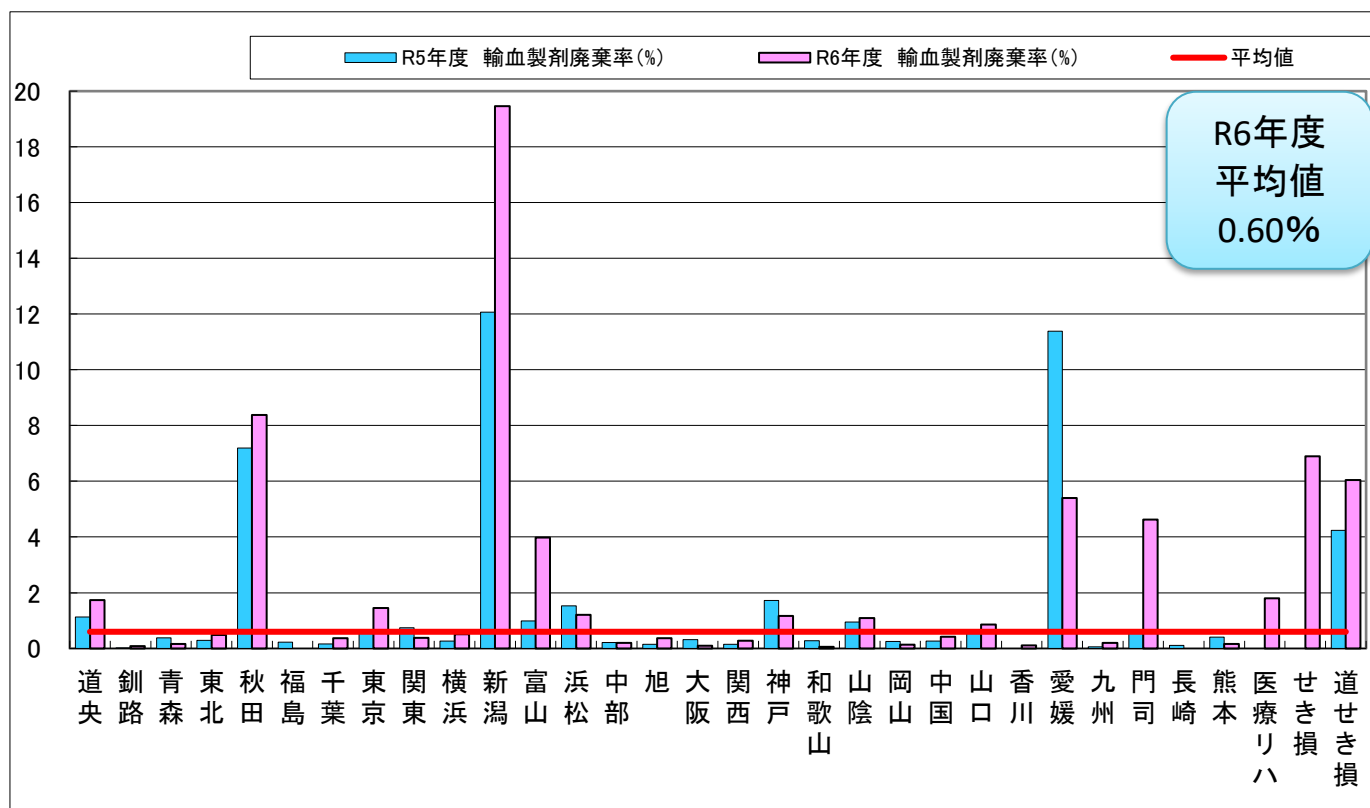
医療資源の有効活用に関して、輸血用血液の適切な管理・使用状況について輸血製剤の廃棄状況から評価する。

廃棄率が低い場合には、輸血製剤が適切に管理・使用されていると評価できる。

（注） 当該指標については、病院と血液センター間の距離が影響しており、都市部（輸血センターから近距離）と地方（輸血センターから遠距離）の病院で大きく差が出る傾向にあります。

また、地方の病院においては、不測の事態に備えて血液製剤をストックしておく必要があるため、結果として廃棄率が高くなる傾向にあります。

19. 輸血製剤廃棄率



No	施設名	R5年度			R6年度		
		分母	分子	輸血製剤廃棄率(%)	分母	分子	輸血製剤廃棄率(%)
1	道央	530	6	1.13	230	4	1.74
2	釧路	4,777	1	0.02	4,581	4	0.09
3	青森	1,567	6	0.38	1,279	2	0.16
4	東北	2,064	6	0.29	1,668	8	0.48
5	秋田	306	22	7.19	382	32	8.38
6	福島	2,708	6	0.22	2,824	0	0.00
7	千葉	4,957	8	0.16	4,892	18	0.37
8	東京	1,807	11	0.61	1,374	20	1.46
9	関東	7,019	52	0.74	6,900	26	0.38
10	横浜	7,722	20	0.26	7,444	38	0.51
11	新潟	348	42	12.07	298	58	19.46
12	富山	1,018	10	0.98	1,106	44	3.98
13	浜松	2,352	36	1.53	2,814	34	1.21
14	中部	2,788	6	0.22	2,906	6	0.21
15	旭	1,312	2	0.15	1,620	6	0.37
16	大阪	7,524	24	0.32	8,435	8	0.09
17	関西	10,598	16	0.15	9,387	26	0.28
18	神戸	1,396	24	1.72	1,192	14	1.17
19	和歌山	3,554	10	0.28	3,400	2	0.06
20	山陰	2,116	20	0.95	2,024	22	1.09
21	岡山	3,112	8	0.26	2,822	4	0.14
22	中国	2,306	6	0.26	1,891	8	0.42
23	山口	2,952	16	0.54	3,020	26	0.86
24	香川	4,046	0	0.00	3,828	4	0.10
25	愛媛	404	46	11.39	556	30	5.40
26	九州	3,148	2	0.06	2,910	6	0.21
27	門司	918	6	0.65	692	32	4.62
28	長崎	1,908	2	0.10	2,014	0	0.00
29	熊本	3,954	16	0.40	3,670	6	0.16
30	医療リハ	76	0	0.00	111	2	1.80
31	せき損	108	0	0.00	58	4	6.90
32	道せき損	472	20	4.24	430	26	6.05
合計		89,867	450	0.50	86,758	520	0.60
平均	500床以上	8,216	28	0.34	8,042	25	0.30
	400床以上	3,316	6	0.19	2,892	10	0.33
	300床以上	2,512	15	0.61	2,937	12	0.39
	300床未満	642	15	2.27	663	21	3.19